

だんだん

放送大学島根学習センター
146号

2025年1月発行



〒690-0061

松江市白潟本町 43 スティックビル 4階

☎0852-28-5500 fax0852-28-1800

✉shimane-sc@ouj.ac.jp



学生研修旅行
(広島・鞆の浦)

◆所長より	2
◆客員教員の「談・談」	3
◆行事の報告	4~5
◆行事の案内	6
◆お知らせ	7~11
◆島根同窓会通信	11
◆スケジュール(1・2・3月)	12



薔薇の木に薔薇の花咲く



出口 顯(島根学習センター所長)

『贈与論』などの研究で文化人類学の発展に貢献したフランスのマルセル・モースの授業には、かの岡本太郎も出席していたが、別の学生は、バスの停留所に乗客として立っていた時、自分と隣合った人々との間に感知した関係がモースの授業をうけたことで、変形を蒙ったのを発見したという。「何かが変わっていた。」僕とかれら”ということではなくなっていた。僕はかれらのうちのひとりになっていた」というのである。

このエピソードは、私が専門とする文化人類学という学問がめざすことの一つを端的に伝えている。それは日常をすすんで見慣れないものに変えていくことである。どこにでもあるありふれた、見慣れているがゆえに安心して依りかかってきた世界が、突然別のものになってしまう様はわれわれを戦慄させるが、その戦慄を通して世界と自分の関係を新鮮で生き活きとしたものにする技法が文化人類学といえよう。

しかし日常を見慣れないものに変えるという技法は文化人類学に限らない。例えば北原白秋の詩に次のような短い詩がある。

「薔薇の木に薔薇の花咲く、何ごとの不思議なけれど」
(『白金之独楽』大正3年、1914年)

中学校一年の国語の授業でこの詩を習ったとき、国語の先生は、バラの木にバラの花が咲くのはあたりまえだが、それが何かとても不思議にも奇妙にも思える、当たり前前を当たり前前として受け流さないで、新鮮な驚きをもって眺めることが文学的感性というものであると、おそらくはもっと平易な言葉で教えてくださった。

文化人類学と詩の創作を含む文学とは、根の深いところで通じ合っているといえるのではないか。そして通じ合っているのはこの二つに限らず、あらゆる学問にもあてはまるのではないだろうか。文学や文化人類学とは遠くかけ離れているかに見える量子物理学などそのよい例であろう。「シュレディンガー(量子物理学者)の猫」は半分生きていて半分死んでいるのである!

放送大学の多数の、というより無数の授業を覗けば、さらに多くの例を挙げることができるだろう。学生の皆さんには放送大学で学ぶことで、世界が突然別のものになる戦慄と興奮を味わっていただければと思う。



望ましいことに着目することと望ましくないことに着目すること

客員教授 村瀬 俊樹

「早く会いたいけん、今は帰らんでいいけんね（出雲版）；早く会いたいけえ、今は帰らんでいいけえね（石見版）」。コロナ禍の2020年4月末に、島根県が新聞に掲載したこの広告は高い評価を受けた。私も好きなコピーである。人に何かを伝えるとき、特に何かを要求するときには、相手の人格を尊重するために様々な配慮をする。配慮の仕方には大きく分けて2通りあると言われている。1つは、「あなたのことを大切に思っている。だけど（だから）、・・・してほしい」のように、その人のことを受容しており、その人と親密な関係でありたいと思っているのだということが伝わるようにすること、いわば、その人と近い距離関係にいたいと思っていることを伝えようとする配慮である。もう1つは、「申し訳ないけど・・・してもらっていいですか？」のように、その人の私的領域のことをその人が自分で決める自由を尊重しており、押しつけがましくするつもりはないということを伝えようとする配慮、いわば、相手を1人の人間として尊重し、適切な対人距離を保とうとわきまえていることを伝えようとする配慮である。

どちらの配慮も重要だが、コロナ禍では、帰省という人の私的領域の行動に対して、控えることを要請せざるを得ない状況があった。このコピーは、「早く会いたい」と、あなたのことが大切で距離なくとも過ごしたいと思っていることを明確に表現することで帰省を控えるよう伝えていることが、多くの人の共感を呼んだのだろう。

私たちには、望ましいことが得られるか否か（人と仲良くなれるか・楽しく過ごせるか・なりたい自分になれるか等）に着目して行動することと、望ましくないことを回避できるか否か（人から排除されないか・感染を広げないでいられるか・すべきことをしていないことはないか等）に着目して行動することの2つの行動原理がある。前者は促進焦点と呼ばれ、後者は予防焦点と呼ばれている。促進焦点は、こうありたいという理想に近づくことと関連し、予防焦点はこうあらねばならないという責任や義務の遂行と関連する。促進焦点的に目標を立てて、達成できれば喜びを感じるし、達成できなければ落胆や悲しみを感じる。予防焦点的に目標を立てて、達成できればほっとするし、達成できないと思うと不安を感じる。

促進焦点も予防焦点も、状況に応じてどちらも必要であり、それぞれがどの程度強いかは人によっても異なるが、予防焦点が強く働いている時には、促進焦点的に考えて行動してみることが息苦しさを緩和する1つのオアシスになるのではないだろうか。

締め切りまでに原稿を書かねばならない、書けなかったらどうしようというのは予防焦点的な考えだが、多くの人と考えを交流したいと思って原稿を書くことは促進焦点的な行動だ。結果として喜びを感じるか、悲しみを感じるかはわからないが、書き上げるまでの行動としては、少しは促進焦点的にできたかな。

◆ 行事の報告 ◆

公開講演会

10月に予定していた「岩石と鉱物の世界『とっておき（隠岐）のヒスイの話』（隠岐の島会場）は、悪天候のため中止となりました。11月、12月に開催したものは以下のとおりです。

○「家族のつくり方の比較文化

----- 死後生殖・代理出産・国際養子縁組

講師：出口 顕 氏（島根学習センター所長）

日時：11月2日（土）14:00～15:30

会場：放送大学島根学習センター第1講義室

参加者：12名



○「私たちがものごとを考えるときの心のクセ：認知バイアス」

講師：村瀬 俊樹 氏（島根学習センター客員教授）

日時：11月16日（土）14:00～15:30

会場：浜田市 いわみーる

西部社会教育研修センター302 研修室

参加者：9名



日時：11月17日（日）10:30～12:00

会場：益田市立図書館視聴覚室

参加者：13名



○「だまされないために学ぶ『だまされてしまう』心理」

講師：村瀬 俊樹 氏（島根学習センター客員教授）

日時：12月11日（水）10:15～12:00

会場：松江市玉造公民館

参加者：60名



○「『詩』になる言葉」

講師：山根 繁樹 氏（島根県立短期大学教授）

日時：12月15日（日）10:00～11:30

会場：出雲市役所くにびき大ホール

参加者：30名



○「シルクロードと日本」

～古代出雲は『世界』の交易網とどのような関係をもっていたか？～

講師：荒川 正晴 氏（島根学習センター客員教授）

日時：12月22日（日）14:00～15:30

会場：和鋼博物館

参加者：45名



面接授業

面接授業の一部をご紹介します。

科目名： 「栄養管理について学ぼう！」

講師： 澤 幸子氏（島根県立大学看護栄養学部・准教授）

栄養管理の目的は、健康の維持と病気の予防です。

この栄養管理をするために必要な栄養評価の手法を中心に展開された授業でした。関心の高いテーマでもあり、受講者の皆さんは熱心に授業に取り組まれていました。



次学期も様々なジャンルの面接授業を開講する予定です。

まだ面接授業を経験したことのない方もぜひ、受講してみてください！

学生研修旅行

学生研修旅行を実施しました。

実施日： 2024年11月17日（日）

訪問先： 広島県福山市鞆の浦

島根学習センターでは毎年秋に日帰りで学生研修旅行を実施しています。

今年は11月も後半となりようやく見ごろを迎えた山々の紅葉を眺めつつ、中国山地を越え、バスで福山市の鞆の浦を目指しました。参加者20名は車中で鞆の浦の歴史や町づくり、車窓から見える中国横断自動車道尾道松江線沿いの地形や町々の歴史などについて学習しました。また、途中で訪れた福山市草戸町の明王院では、国宝の本堂と五重塔を見学しました。

鞆の浦に到着すると、まず福禅寺対潮楼へ向かいました。備後灘に面した高い石垣の上に建つ対潮楼から見える瀬戸内海の風景は、江戸時代に訪れた朝鮮通信使が絶賛したのも納得の素晴らしさでした。次に訪れた歴史民俗資料館では、古代から港町として栄えた鞆の浦の歴史や習俗について展示資料を基に学びました。更に江戸時代の施設が数多く現存する港を訪れ、鞆の浦の歴史的価値について学習しました。

その後、江戸時代中期から明治・大正時代までに建てられた町家が並ぶ鞆の浦の町歩きを行い、時代ごとの建築の特徴を観察するとともに、それらの建物が現代においても活用されている状況を見学しました。また、江戸時代と変わらない狭隘な道路事情を実感し、景観保全と住民の利便性のバランスはどうあるべきかについても考える機会となりました。

島根学習センターでは、今後もこのような交流と学びの機会を作って参ります。



◆ 行事の案内 ◆

修士論文発表会・公開講演会

2月8日（土）公開講演会・修士論文発表会を開催します。参加は無料です。

<公開講演会> 13:00~14:00

「老化期の転倒防止について ~高齢者から幸齢者への第一歩~」

岡田 修一 氏（放送大学兵庫学習センター所長 神戸大学名誉教授）

<修士論文発表会> 14:20~15:00

2023年度に大学院の研究指導を履修された方の「修士論文発表会」を開催します。

「卒業研究」の履修を考えておられる方、ご自身の学習内容を発表することにご興味のある方など、ぜひご参加ください。

詳細は、同送のチラシをご覧ください。

学位記授与式・入学者の集い

期 日：3月30日（日）

場 所：スティックビル3階 第1講義室

日 程：10:40 ~ 学位記授与式

13:30 ~ 入学者の集い

入学説明会・相談会

2025年4月入学に向けた「入学説明会・相談会」を開催します。

ご家族、友人、お知り合いの方々にぜひご紹介ください！

会 場	日 時	場 所
松 江 市	2月 9日（日）10時～、14時～	島根学習センター
	3月 2日（日）10時～、14時～	
出 雲 市	1月12日（日）13時～	出雲中央図書館
	2月22日（土）13時～	
浜 田 市	2月 2日（日）10時～	県西部社会教育研修センター (いわみーる内)
	2月15日（土）9時～	
益 田 市	2月 1日（土）14時～	益田市立図書館
	2月14日（金）14時～	

● 学習相談のお知らせ

学習の方法や進め方など、修学上の疑問や質問について、客員教員等による対面またはオンライン方式で学習相談を実施します。学習相談票に相談内容を記入し、相談日の3日前までにご提出ください。

(電話、メールでの申込みの場合は希望日時、相談内容等をお伝えください)

■相談時間 お一人1時間以内

■学習相談票は窓口、または島根学習センターウェブサイトにてWordとPDFファイルを用意していますのでご活用ください。



教員名 (専門分野)	学習相談日	
荒川正晴 (東洋史学)	1月	10日(金) 13:00~16:00
		17日(金) 13:00~16:00
	2月	7日(金) 13:00~16:00
		14日(金) 13:00~16:00
	3月	7日(金) 13:00~16:00
		14日(金) 13:00~16:00
安齋有紀 (フランス語学)	1月	9日(木) 9:30~12:30
		17日(金) 9:30~12:30
	2月	6日(木) 9:30~12:30
		20日(木) 9:30~12:30
	3月	13日(木) 9:30~12:30
		21日(金) 9:30~12:30
大谷みどり (異文化コミュニケーション・ 英語学習における支援)	1月	15日(水) 9:30~12:30
		29日(水) 9:30~12:30
	2月	19日(水) 9:30~12:30
		26日(水) 9:30~12:30
	3月	21日(金) 9:30~12:30
		26日(水) 9:30~12:30
尾崎浩一 (生物学・分子生理学)	1月	14日(火) 14:00~17:00
		28日(火) 14:00~17:00
	2月	4日(火) 14:00~17:00
		18日(火) 14:00~17:00
	3月	4日(火) 14:00~17:00
		11日(火) 14:00~17:00
千代章一郎 (建築論)	1月	14日(火) 9:30~12:30
	2月	7日(金) 9:30~12:30
	3月	11日(火) 9:30~12:30
村瀬俊樹 (心理学)	1月	11日(土) 13:30~16:30
		15日(水) 13:30~16:30
	2月	5日(水) 13:30~16:30
		15日(土) 13:30~16:30
	3月	5日(水) 13:30~16:30
		15日(土) 13:30~16:30
出口顕 (文化人類学)	随時(出勤日)	

【問合せ】放送大学島根学習センター ☎0852-28-5500/fax0852-28-1800 ✉shimane-sc@ouj.ac.jp

2025年度第1学期ゼミ（予告）



2025年度第1学期の客員教員によるゼミは、以下のとおりです。
申込方法、日程など詳細については、3月以降に島根学習センターWebサイト、掲示、
機関誌だんだん147号（4月発行）にてお知らせいたします。

「言語と文化ー言語を対照するー」

講師：安齋 有紀 客員准教授

このゼミでは、フランス語と日本語を中心に、様々な言語を「対照」することで、それぞれの言語の特徴や言語と文化の関係について考えます。そこから、外国語を学ぶヒントも探っていきます。フランス語の知識は不要です。受講生には、これまで外国語を学ぶ中で疑問に思ったことについて発表していただきます。

（定員：8名）

「建築の味わい方」

講師：千代 章一郎 客員教授

建築家の書いた文章を使って、建築のみかたについて議論します。いろいろな角度から建築をじっくりと検証し、ゼミでのディスカッションを通して、日本に限らず世界の素晴らしい建築の世界を味わってみたいと思います。

（定員：10名）

「実験・調査を通して知る心の仕組み」

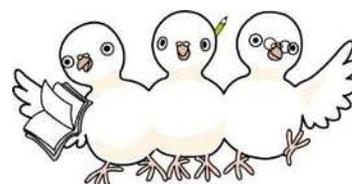
講師：村瀬 俊樹 客員教授

心理学が対象とする「心」には、感情的側面だけではなく、認知的側面、行動的側面が含まれます。「心」は人による違いもありますが、多くの人に共通する法則性もあります。様々な実験や調査を工夫して、その法則性を明らかにしようとするのが心理学の研究です。このゼミでは、認知・行動面を中心に、感情面を含めて、実験や調査で得られたデータをもとに、多くの人に共通する「心」の法則性について考えます。各参加者の関心と教員の守備範囲をすり合わせてテーマを決定し、参加者の皆様にテーマに関して発表をしていただきます。教員がファシリテーター（司会者）となって、発表者と他の参加者（聞き手）の皆様で話し合いを行い、それぞれの立場で考えを深めていただけるようにしたいと思っています。

（定員：10名）

その他に以下のゼミを開講予定です。

- ・『自然から学ぶ：身近な植物を観察しよう』
- ・『「現代小説」を読む』
- ・『フィールドから学ぶ民俗学：文化的景観を読み解く』



◆ お 知 ら せ ◆

単位認定試験

『学生生活の葉』 教養学部 68～78 頁 大学院 68～77 頁

下記の日程で単位認定試験が実施されます。必ずこの期間に受験してください。

●提出期間

試験の出題形式により試験期間が異なりますのでご注意ください。

- ・択一式科目：2025年1月19日（日）9：00～1月27日（月）17：00
- ・記述式・併用式科目：2025年1月19日（日）9：00～1月23日（木）24：00
- ・郵送提出科目：2025年1月19日（日）～1月23日（木）、＜必着＞
郵送提出科目・・・「行政学講読（'24）」、「正多面体と素数（'21）」、
「日本美術史の近代とその外部（'18）」、「量子化学（'19）」



履修相談

履修計画の立て方、科目登録の仕方など、お気軽にご相談ください。
いずれの会場も 1人30分程度、**要予約** 島根学習センターまで申願います。

場 所	相談日	時 間	申込〆切
島根学習センター	2月16日（日）	10：00～12：00 14：00～17：00	2/13(木)
	18日（火）		
	19日（水）		
益田コーナー （益田市立図書館）	2月14日（金）	14：00～17：00	2/12(水)
浜田コーナー （いわみーる 3 階）	2月15日（土）	9：00～12：00	

図書・視聴室からのお知らせ

◆図書・視聴室の利用時間 9：30～17：30（火曜～日曜）

※毎月第2水曜日はスティックビル休館日のため、図書・視聴室を閉館とします。

◆単位認定試験期間中

1月19日（日）～1月27日（月）は、単位認定試験を島根学習センターで受験する方以外の図書・視聴室利用はできませんのでご了承ください。
（島根学習センターで受験する方は、受験日のみ使用できます。）

◆面接授業参考図書のご紹介

- 〈第2学期面接授業参考図書を配架しました。ぜひ学習にお役立てください〉
- ・旅に出たくなる地図 世界 帝国書院編集部（帝国書院）
 - ・都市の景観地理 日本編1 阿部和俊 編（古今書院）
 - ・人体発生学講義ノート 塩田浩平 著（金芳堂）

次学期の出願（継続入学）及び科目登録について

『学生生活の栞』 教養学部 57～62・91～93 頁 大学院 56～62・91 頁

放送大学は2学期制をとっています。あなたの学籍は次学期も続いていますか。次学期（2025年度第1学期）の申請手続きは、「学籍の有無」、「学生の種類」などにより異なります。ご確認の上、手続きを行ってください。

あなたの学籍はどうなっていますか？

今学期末で学籍が切れる方で
引き続き本学に入学を希望される方
出願（継続入学）

1月中旬に大学本部から

◆ **継続入学の案内** 送付

次学期も学籍が続く方
科目登録

1月中旬に大学本部から

◆ **科目登録申請要項** 送付

★出願手続き

第1回または第2回募集の出願期間内に、
インターネットまたは郵送で出願してください。

（インターネット出願はシステムWAKABAの「継続入学申請」からできます。）

第1回募集

11月26日（火）～2月28日（金）
【私書箱必着】

第2回募集

3月1日（土）～3月11日（火）
【私書箱必着】

* 2024年度第2学期末で卒業見込みの方は成績確定後に出願してください。

* 原則として**3月上旬以降**に選考結果通知と払込取扱票が届きます。

* 次学期に再試験のみ希望される場合も、継続入学の手続きが必要です。

* 面接授業の登録申請も希望する方は**科目登録申請期間中（2月13日9時～2月28日24時）**に学生募集要項**6～7頁**参照のうえ、システムWAKABAにて出願を行ってください。

★科目登録申請

申請期間内に、郵送またはシステムWAKABAで登録申請をしてください。

WAKABA	2月13日（木）9：00 ～2月28日（金）24：00
郵送	2月13日（木）～2月27日（木） 【私書箱必着】

* 申請開始の8日前になっても「科目登録申請要項」が到着しない場合は、大学本部（Tel 043-276-5111 総合受付）へお問い合わせください。

* 面接授業の科目登録を希望される方は、併せて申請してください。

* 本部から「科目登録決定通知書」と払込取扱票が届きます。

※ 面接授業は、学期当初の登録だけでなく、空席のある科目については学期途中で各学習センターで追加登録ができます。

科目数、単位数は学習計画や自分のペースに合わせて選択してね。



学習センター在籍状況

◆学生の種類別

教養学部	全科履修生	315	454名	大学院	修士全科生	4	26名
	選科履修生	78			修士選科生	17	
	科目履修生	57			修士科目生	3	
	特別聴講生	4			博士全科生	2	
令和6年度第2学期在籍者数合計 480名							

◆市町村別（学部と大学院の合計数）

松江市	202	大田市	12	隠岐の島町	3	米子市	57
安来市	17	江津市	7	西ノ島町	1	境港市	16
出雲市	97	浜田市	14			大山町	6
雲南市	6	益田市	7			日南町	1
奥出雲町	7	美郷町	2			南部町	2
飯南町	2	川本町	1			伯耆町	4
		邑南町	1			その他	15
東部計	331	西部計	44	隠岐計	4	県外計	101

島根同窓会通信 (48)

2025年1月現在 会員数71名

2024年度「森林保全活動」に参加

2024年11月9日（土）、「さんいん環境キャンペーン森林保護活動」が小春日和の松江市東長江町で開催されました。私たち島根同窓会は地域貢献活動の一環として、この催しに毎年参加しています。今年も協賛企業・関係団体の方々や一般参加の親子連れなど総勢76名の中に加わり、アカマツ500本とヤマザクラ100本を宍道湖北側の島根半島に位置する葉子山（はこやま）に植樹しました。葉子山での活動は今年で7年目となります。

急勾配の斜面に苗木を植えるため、三瓶山の登山道のようにつづら折りに整備された新しい道を登りました。そして、あらかじめ赤やピンクで杭に目印が付けられた箇所にとどり着くと、森林組合職員の「30センチ程度の深さに掘って、1本ずつ真っ直ぐとなるよう確実に植えてください。」という説明に従って、各自で選んだ苗木を植えました。急斜面での作業ですので足場に注意しながら、鍬で穴を掘り、苗木を植え、土を戻して足で固く踏みしめる作業を行うのですが、今回は事前に降った雨のおかげで、土壌が柔らかくなっており、さほど苦勞することなく植樹を終え、心地よい汗を流すことができました。参加にあたって同窓会は毎回「同窓会旗」を持参しており、集合写真ではしっかりと放送大学同窓会の宣伝を果たすこともできました。



親子連れが植林

北垣さんの植林

スケジュール Schedule

【ゼ】ゼミ 【相】学習相談

1月		
日	曜	行事
1	水	閉所日
2	木	閉所日
3	金	閉所日
4	土	閉所日
5	日	閉所日
6	月	閉所日
7	火	【ゼ】千代
8	水	図書視聴室閉室
9	木	【相】安齋
10	金	【相】荒川
11	土	【相】村瀬
12	日	
13	月	閉所日
14	火	【相】尾崎 【相】千代
15	水	【相】大谷 【相】村瀬
16	木	
17	金	【相】荒川 【相】安齋
18	土	【ゼ】大谷
19	日	単位認定試験
20	月	閉所日
21	火	
22	水	
23	木	試験終了日 (記述式・郵送科目)
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	閉所日 試験終了日 (択一式科目)
28	火	【相】尾崎
29	水	【ゼ】村瀬 【相】大谷
30	木	【ゼ】安齋
31	金	

2月		
日	曜	行事
1	土	
2	日	
3	月	閉所日
4	火	【ゼ】千代 【相】尾崎
5	水	【相】村瀬
6	木	【相】安齋
7	金	【相】荒川 【相】千代
8	土	【ゼ】大谷
9	日	
10	月	閉所日
11	火	閉所日
12	水	図書視聴室閉室
13	木	
14	金	【相】荒川
15	土	【相】村瀬
16	日	
17	月	閉所日
18	火	【相】尾崎
19	水	【ゼ】村瀬 【相】大谷
20	木	【相】安齋
21	金	【ゼ】荒川
22	土	
23	日	閉所日
24	月	閉所日
25	火	【ゼ】尾崎
26	水	【相】大谷
27	木	【ゼ】安齋
28	金	

3月		
日	曜	行事
1	土	
2	日	
3	月	閉所日
4	火	【ゼ】千代 【相】尾崎
5	水	【相】村瀬
6	木	
7	金	【相】荒川
8	土	【ゼ】大谷
9	日	
10	月	閉所日
11	火	【相】尾崎 【相】千代
12	水	図書視聴室閉室
13	木	【相】安齋
14	金	【相】荒川
15	土	【相】村瀬
16	日	
17	月	閉所日
18	火	
19	水	【ゼ】村瀬
20	木	閉所日
21	金	【相】安齋 【相】大谷
22	土	
23	日	
24	月	閉所日
25	火	【ゼ】尾崎
26	水	【相】大谷
27	木	【ゼ】安齋
28	金	【ゼ】荒川
29	土	
30	日	学位記授与式
31	月	閉所日

<島根学習センター所属生の皆さまへ（重要なお知らせ）>

これまで印刷物を年4回郵送・配布してまいりました機関紙「だんだん」は、来年度中に、原則 Web 配信のみに変更する予定です。何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

変更後は、島根学習センターWebサイト（おしらせ）に掲載する予定です。

また、当面の間は、窓口にも印刷物を配架することといたします。（必要な方はお取りください。）

ご不明の点は、当学習センターまでお問合せください。